

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

d. グリーン化の取り組み

お取引先と協力して、流通の全過程においてCO2の削減、廃棄物の削減、省資源化、リサイクルなどに取り組めます。また、衣料品の回収キャンペーンを共同で実施し、未使用や不要な衣料品をリサイクルすることで、廃棄物の削減と環境への貢献を促進します。また、プラスチック製用度品や納品用梱包材についても、環境負荷軽減に貢献できるようお取引先とともに取り組んでまいります。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は手形で支払うことなく、すべて現金で支払います。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

松山市駅前に位置する当社は、観光都市松山の魅力向上と地域全体の活性化に貢献することを目指しています。安全かつ信頼性の高い商品とサービスの提供を推し進めながら、商品流通過程における環境負荷の低減、適切な労働環境の確保、公正で透明な取引の推進に向けて行動してまいります。そしてこれらの取り組みを通じて、お取引先の皆様と共に、互いの繁栄を目指し、より良い未来に向けた共存共栄の関係を築いていくことを目指してまいります。

2024 年 5 月 1 日
(2024 年 10 月 23 日更新)

株式会社伊予鉄高島屋

代表取締役社長 林 巧